

# 自分らしく

## ①男だから!? 女だから!?

もの作りが大好きなAさんは、手芸クラブに入りました。クラブ最初の日、友達から次のように言われました。



アニメが大好きなBさんは、「あのキャラクター、大好き。」と言いました。すると、友達から次のように言われました。



あなたがその場にいたら、何と言いますか。

Aさん、



Bさん、

どういうふうにすることが「自分らしく」することなのでしょうか。

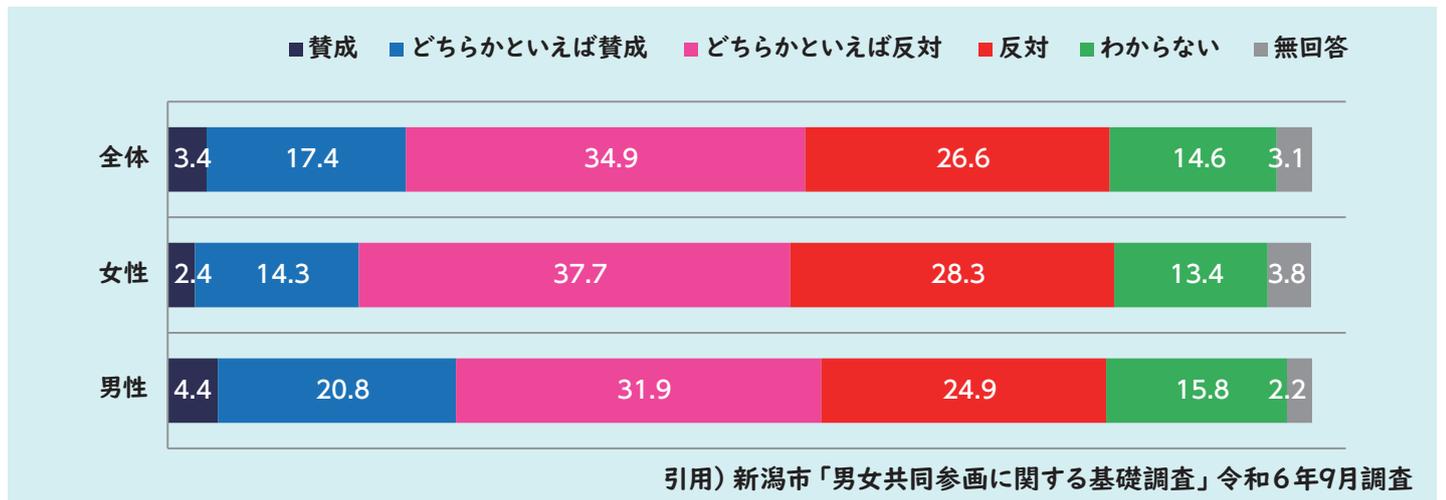
## ② 「らしさ」って何だろう？

下の絵のような場面について考えましょう。



あなたはどのように思いますか。

### 「男（夫）は仕事、女（妻）は家庭」という考え方についての調査



上のグラフを見て、どんなことを考えますか。

### ③「自分らしく」生きるためには？

「自分らしく」生きることについて考えた、下の二人の将来の夢を読んでみましょう。



わたしは、  
体力もあるし、  
みんなを守りたい。  
将来は、消防士さん  
になりたいな。

まゆみさん



たかしさん

ぼくは、  
植物栽培さくばいが好き。  
将来は、植物関係の大学に  
進んで、花屋さん  
になりたいな。



二人が「自分らしく」生きるために、あなたなら、どんな言葉をかけますか。

あなたも、周りの人も「自分らしく」生きるためには、どんなことが大切でしょうか。

やま もと れい な

(平成29年当時)

#### 運転士 山本麗奈さん



在来線の運転士をしていた時に、最新の技術で造られている新幹線を運転してみたいと思うようになって新幹線運転士の試験にチャレンジしました。新幹線は多い時には1列車で1,600名以上のお客さまを乗せて走ります。

多くのお客さまの命をお預かりしていると思うと、この仕事の責任の重さを感じます。運転中は緊張感が絶えませんが、たくさんの方がホームや沿線で手を振ってくれる姿を見ると、地域の皆さまに愛されている新幹線を運転できて幸せだなと感じます。

これからも安全を第一に、お客さま・地域の皆さまの夢や笑顔に乗せて走る新幹線運転士でありたいです。

こ ばやし かず ゆき

(平成29年当時)

#### 看護師 小林一行さん

私が看護師になったのは「人と接する仕事、人のために役立つ仕事がしたい。」と思ったからです。赤ちゃんが元気になって退院していく時の赤ちゃんやお父さんお母さんの笑顔を見ると、看護師になって本当によかったと感じます。これからも皆さんからいつも信頼される看護師を目指して、ずっと努力したいと思っています。



# 「自分らしく」生きて…

あなたなら、「自分らしく」生きて、どんな将来の夢をかなえたいですか。または、どんな人になりたいですか。

★おうちの人からの応援メッセージ

## 参考資料

### ★「性」って「男」と「女」だけなのでしょうか？

性には様々な要素があり、その要素の一つ一つが「男」と「女」の2種類だけではないことが知られています。性はそれらの要素の組み合わせで決まります。つまり、100人いれば100通りの性があるのです。

#### 性の要素

好きになる性	自分が感じている性	表現する性	体の性
<ul style="list-style-type: none"><li>●恋愛の対象となる性。</li><li>●自分と違う性の人を好きになる、自分と同じ性の人を好きになる、どの性の人でも好きになる、どの性の人でも好きにならないなど、いろいろな向きの対象がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●自分が感じている自分の性。自分の性をどう感じているか。</li><li>●体の性と同じと感じる、体の性と違うと感じる、自分の性が分らないと感じるなど、いろいろな感じ方がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●外見上で表現される性。</li><li>●服そうやかみ型、言葉づかい、しぐさ、ふるまいなどで表現される。</li><li>●自分が感じている性とは違う性を表現する場合もある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●体の持ちようとして現れる性。</li><li>●思春期になると、はっきりと現れる人が多いが、そうでない人もいる。</li></ul>

### ★すべての人は自分の性を大切に育む権利を持っています。

目や肌の色、背の高さや声の印象、得意なことや苦手なことが一人一人違うように、性のあり方も一人一人違います。そうした一人一人の個性を大切にすることを「多様性の尊重」と言います。

## 保護者の皆様へ

新潟大学 教育実践学研究所 教授 相庭和彦

小学校6年生は、心と体が大人へと変化し始める大切な時期です。社会の習慣や自分を取り囲む環境や、他者からの視点などが気にかかる時期です。そんな時期に「男であること」や「女であること」を理由に、自分の周りの環境や将来を考えるようになると、自ずと自らの可能性を狭めてしまう可能性があります。子どもたちは自分の夢や将来が可能性をもって描けるから、日常生活を楽しみ、学習に励み、成長していくことができます。「らしさ」はその可能性を委縮させてしまいます。

私たち教職員は、子どもから大人へと心と体が成長していく時期、自分らしく可能性を全面的に開花できるように支援していくために、この男女平等教育を推進していきます。おうちでも子どもたちと共に「らしさ」について考えてみませんか。